

分 析 編

兒 童 生 徒

保 護 者

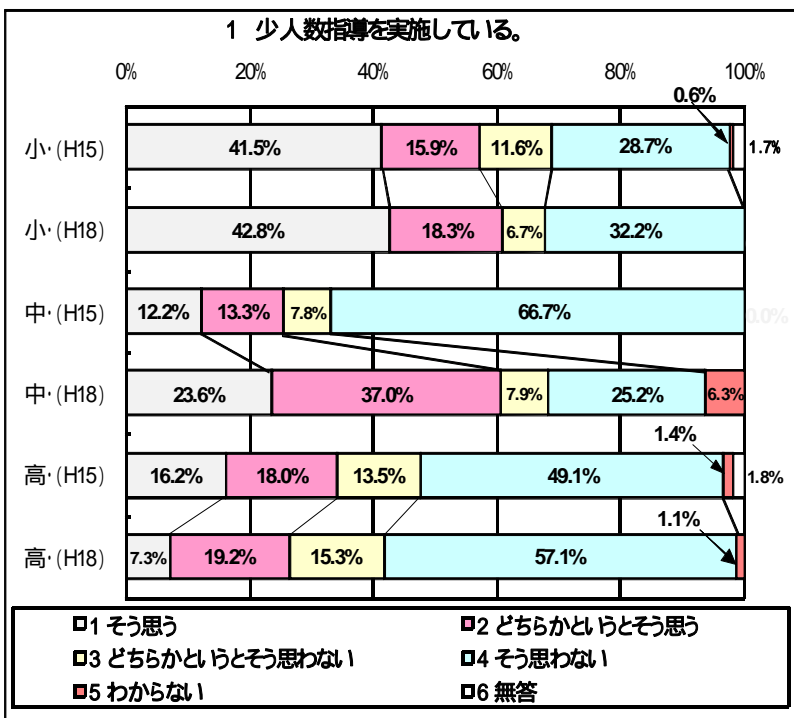
学級担任（副担任）

1 自分の考えに近いものを1つずつ選択

教員 1 少人数指導を実施している。

小・中・高
Q1・Q1・Q1

⇒ 中学校で肯定的な割合が増加。



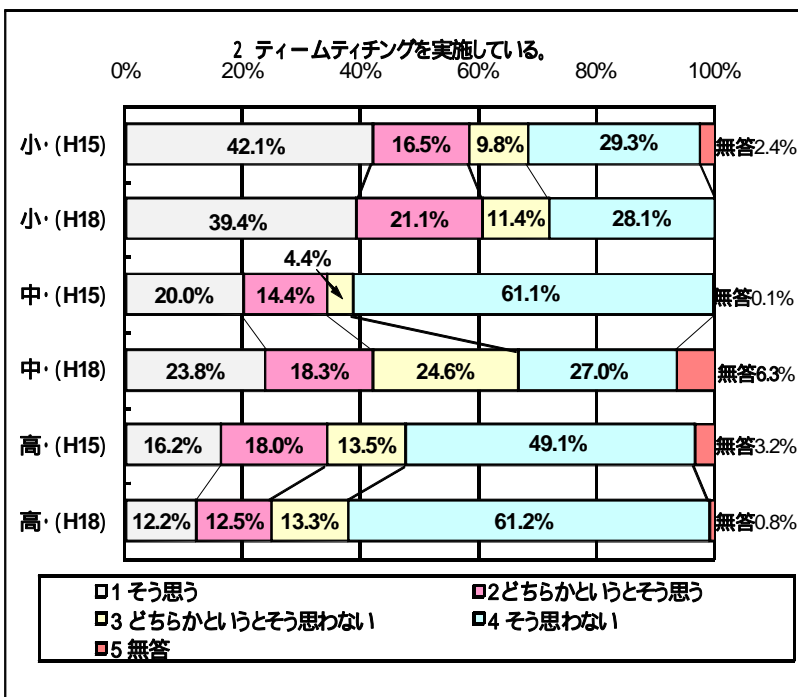
【概要】

肯定的な回答の割合は、小学校で約61%，中学校で61%，高等学校で約27%であり，平成15年度調査に比べ中学校で増加し，高等学校で減少している。

教員 2 ティームティーチングを実施している。

小・中・高
Q2・Q2・Q2

⇒ 中学校で増加，高等学校では減少。

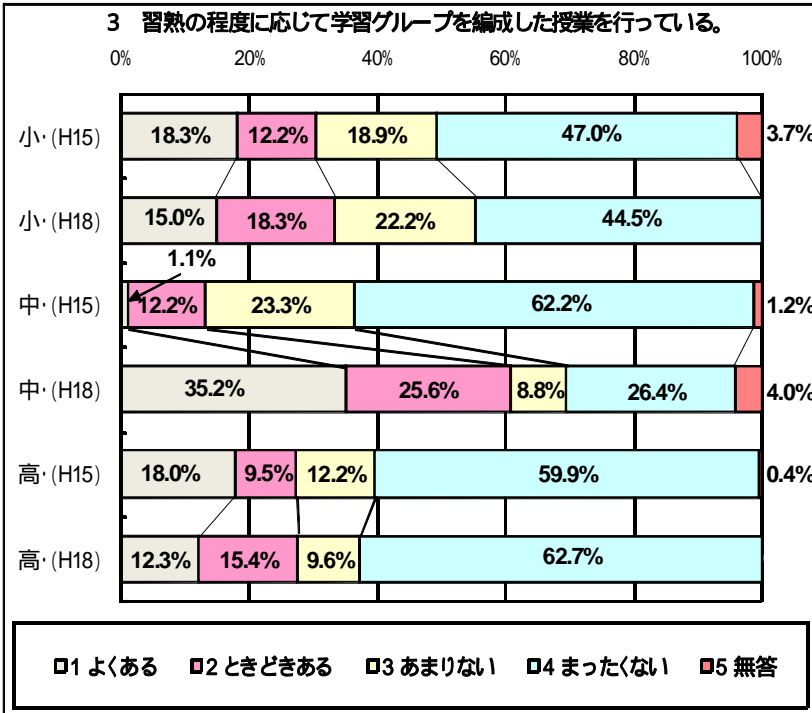


【概要】

肯定的な回答の割合は，小学校で約61%，中学校で約42%，高等学校で約25%であり，平成15年度調査に比べ，中学校で増加し，高等学校で減少している。

教員 3 習熟の程度に応じて学習グループを編成した授業を行っている。
 小・中・高
 Q3・Q3・Q3

⇒ 中学校で肯定的な割合が増加。

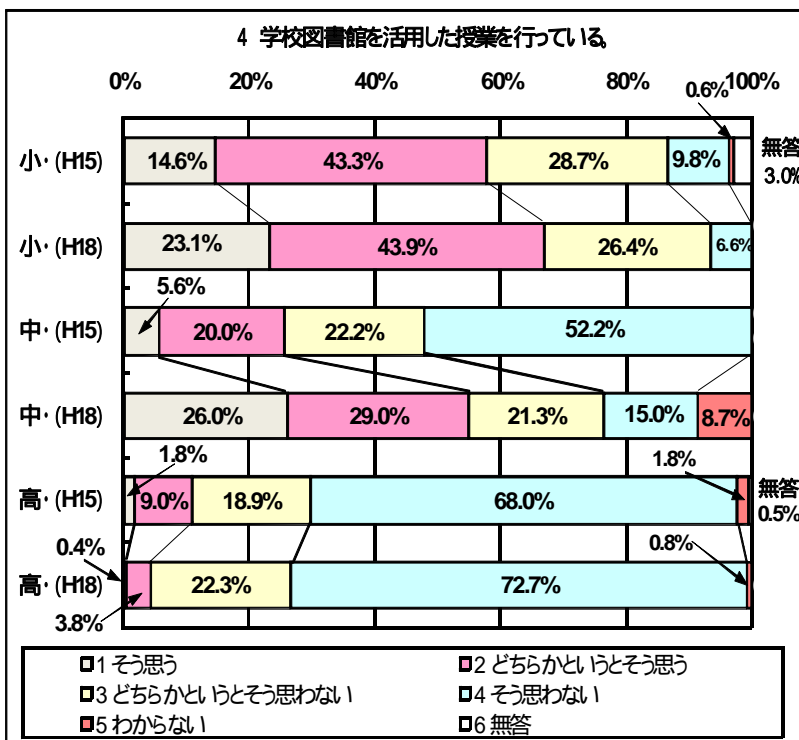


【概要】

肯定的な回答の割合は、小学校で約33%、中学校で約61%、高等学校で約28%であり、平成15年度調査に比べ、中学校で増加している。

教員 4 学校図書館を活用した授業を行っている。
 小・中・高
 Q4・Q4・Q4

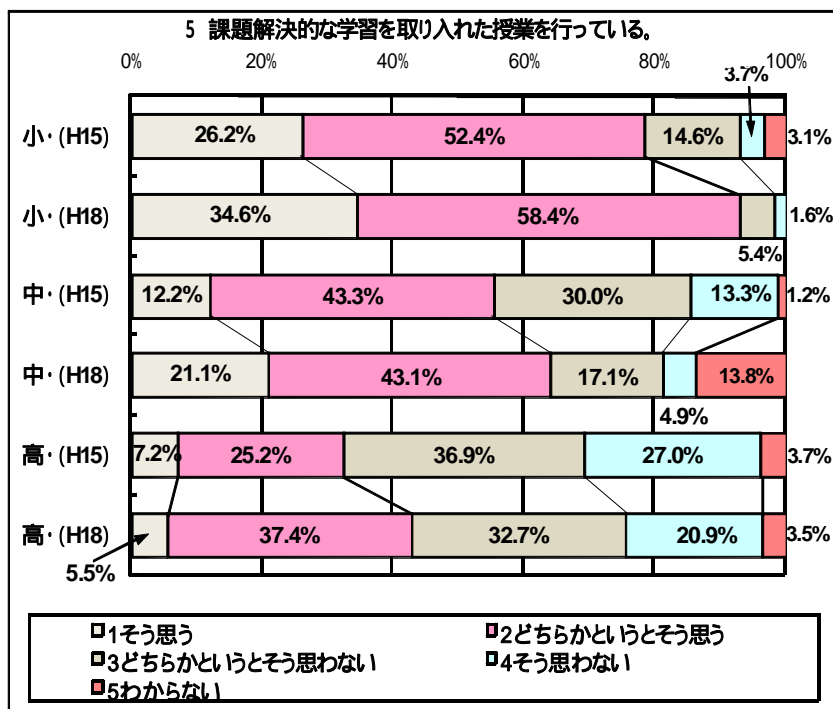
⇒ 小・中学校で増加，高等学校で減少。



【概要】

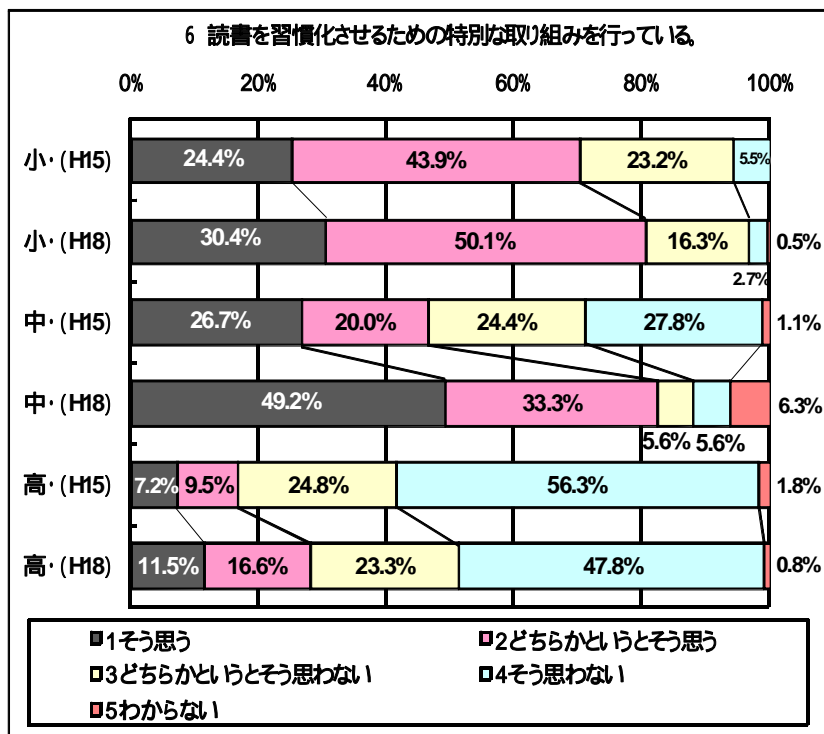
肯定的な回答の割合は、小学校で約67%、中学校で約55%、高等学校で4%であり、平成15年度調査に比べ、小・中学校で増加し、高等学校で減少している。

教員 5 課題解決的な学習を取り入れた授業を行っている。 小・中・高
 → すべての校種で、肯定的な割合が増加。 Q5・Q5・Q5



【概要】
 肯定的な回答の割合は、小学校で約93%，中学校で約64%，高等学校で43%であり，平成15年度調査に比べ，すべての校種で増加している。

教員 6 読書を習慣化させるための特別な取組を行っている。 小・中・高
 → すべての校種で、肯定的な割合が増加。 Q6・Q6・Q6



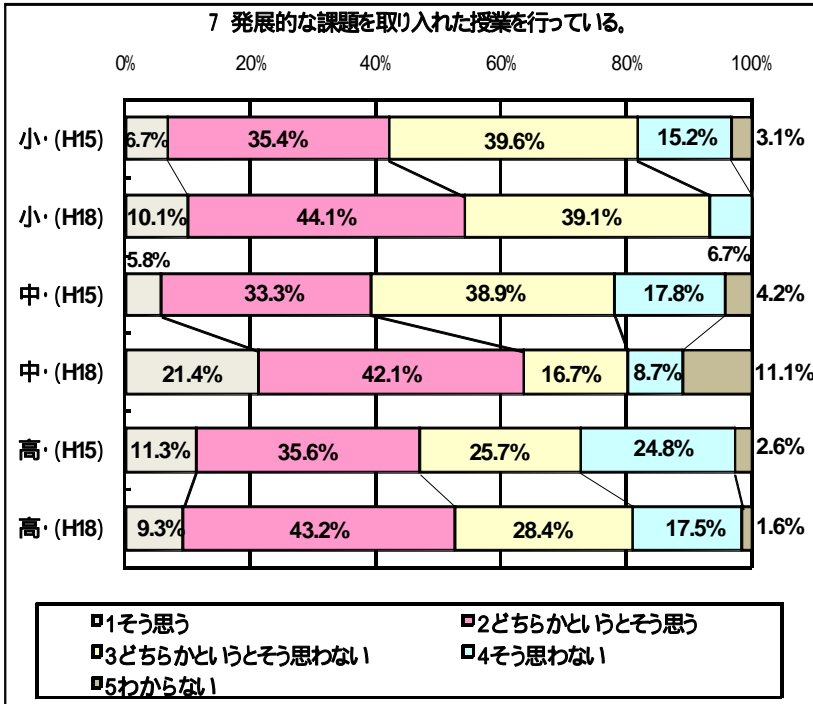
【概要】
 肯定的な回答の割合は、小学校で約80%，中学校で約83%，高等学校で28%であり，平成15年度調査に比べ，すべての校種で増加している。

教員 7 発展的な課題を取り入れた授業を行っている。

小・中・高

→ すべての校種で、肯定的な割合が増加。

Q7・Q7・Q7



【概要】

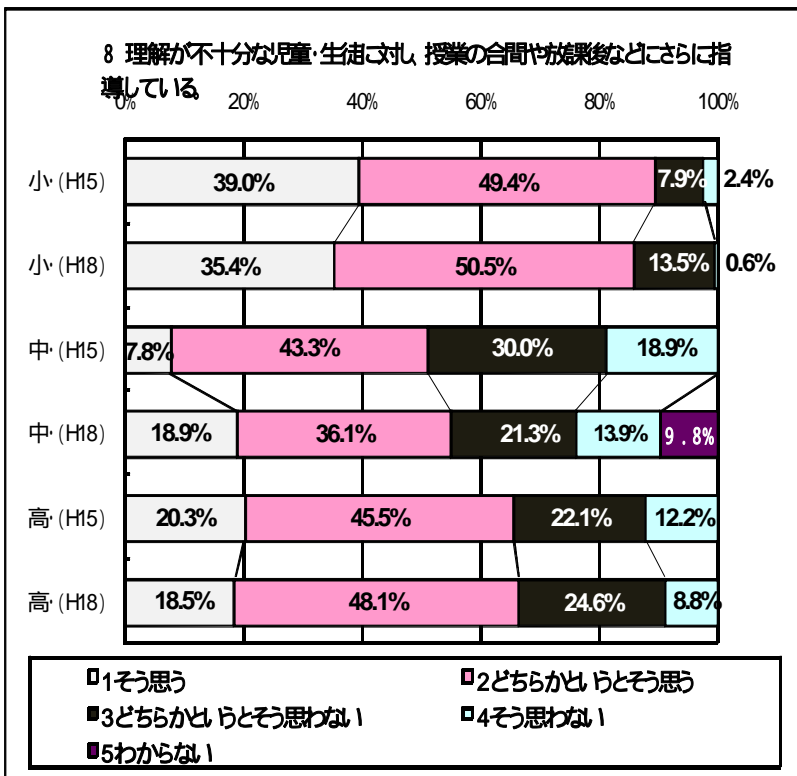
肯定的な回答の割合は、小学校で約54%，中学校で約64%，高等学校で53%であり，平成15年度調査に比べ，すべての校種で増加している。

教員 8 理解が不十分な児童生徒に対して授業の合間や放課後などにさらに指導している。

小・中・高

→ 小 8 6%，中 5 5%，高等学校 6 7%が実施

Q8・Q8・Q8



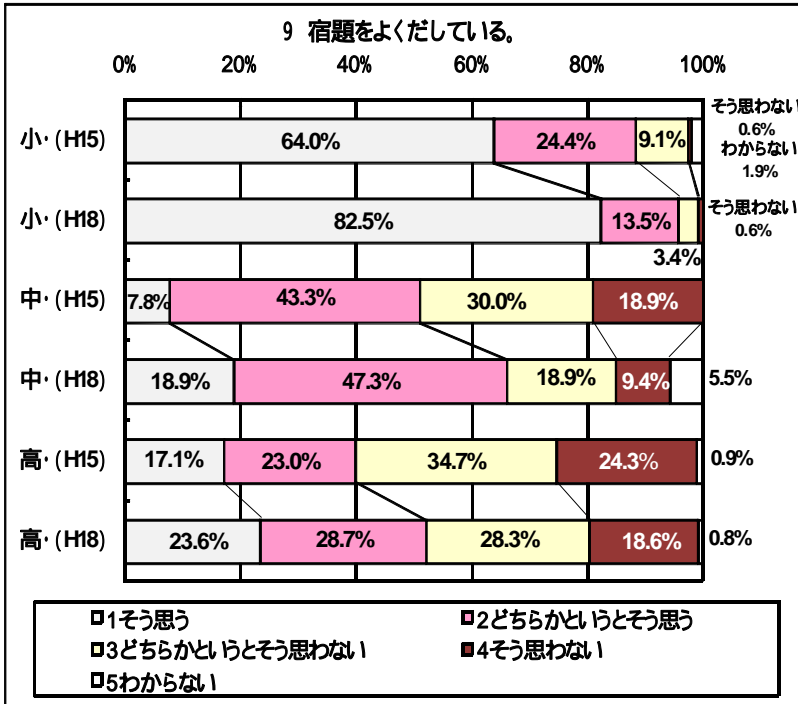
【概要】

肯定的な回答の割合は，小学校で約86%，中学校で約55%，高等学校で67%であり，平成15年度調査に比べ，中・高等学校で増加し，小学校で減少している。

教員 9 宿題をよく出している。

小・中・高
Q9・Q9・Q9

→ すべての校種で、肯定的な割合が増加。



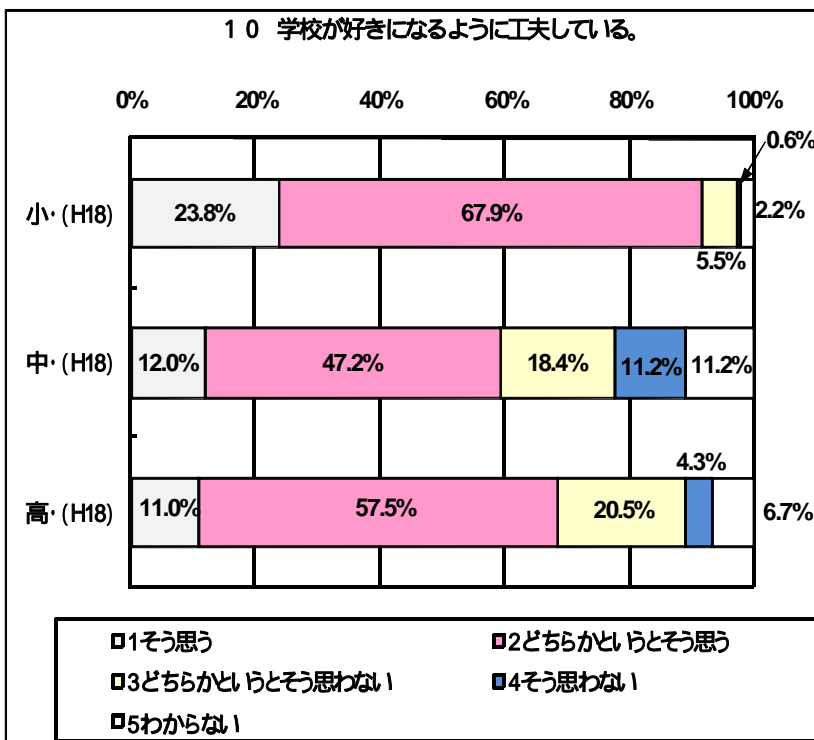
【概要】

肯定的な回答の割合は、小学校で約96%，中学校で約66%，高等学校で52%であり，平成15年度調査に比べ，すべての校種で増加している。

教員 10 学校が好きになるように工夫している。

小・中・高
Q10・Q10・Q10

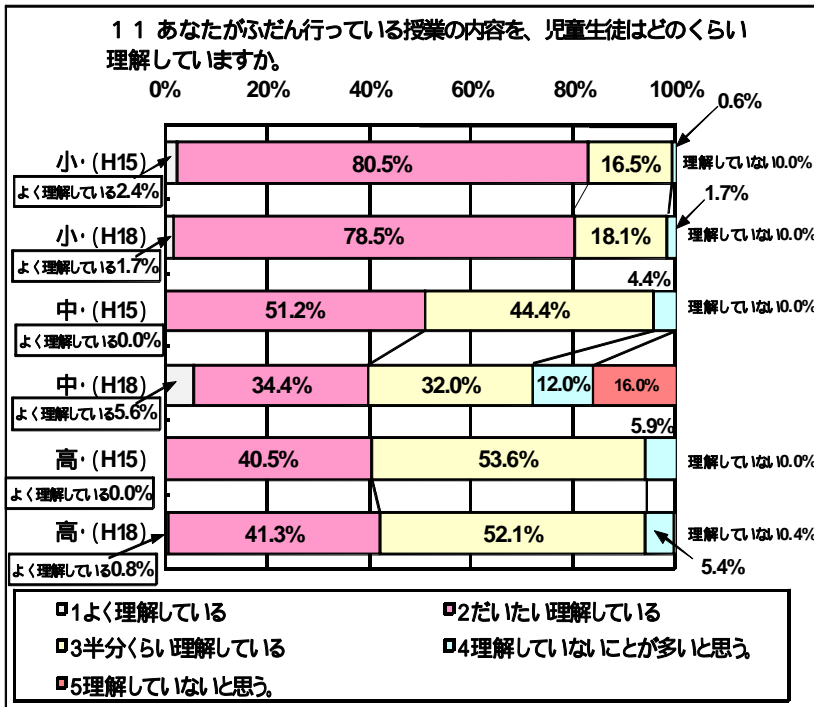
→ 小92%，中59%，高69%。



【概要】

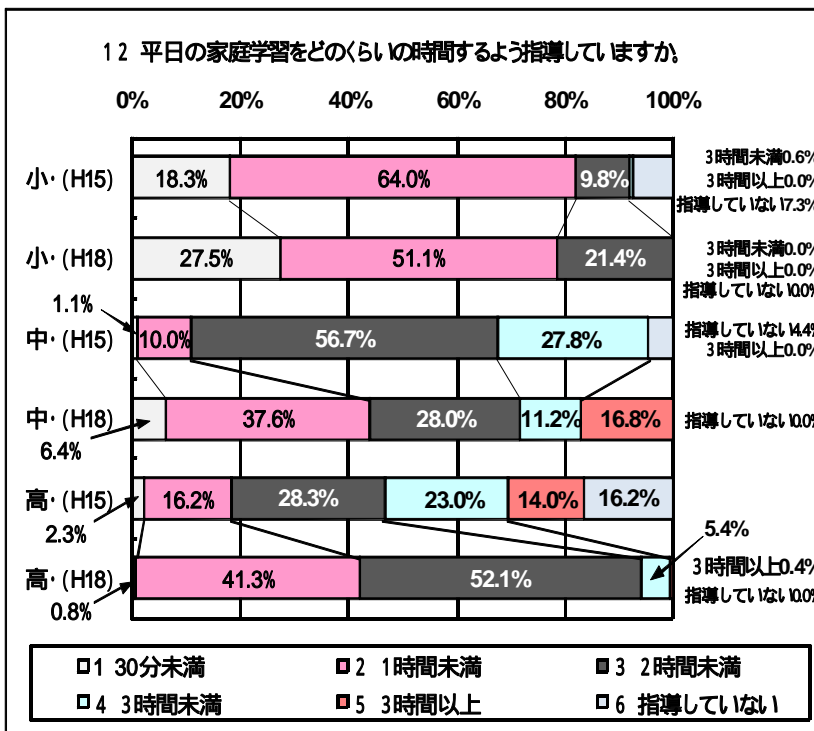
肯定的な回答の割合は，小学校で約92%，中学校で約59%，高等学校で69%である。

教員 11 あなたがふだん行っている授業の内容を、児童生徒はどのくらい理解していますか。 小・中・高
 ⇒ 小8割，中・高4割。中学校で減少。 Q11・Q11・Q11



【概要】
 肯定的な回答の割合は、小学校で約80%，中学校で約40%，高等学校で42%であり、平成15年度調査に比べ、中学校で減少している。

教員 12 平日の家庭学習をどのくらいの時間するよう指導していますか。 小・中・高
 ⇒ すべての校種で、指導している時間が増加。 Q12・Q12・Q12

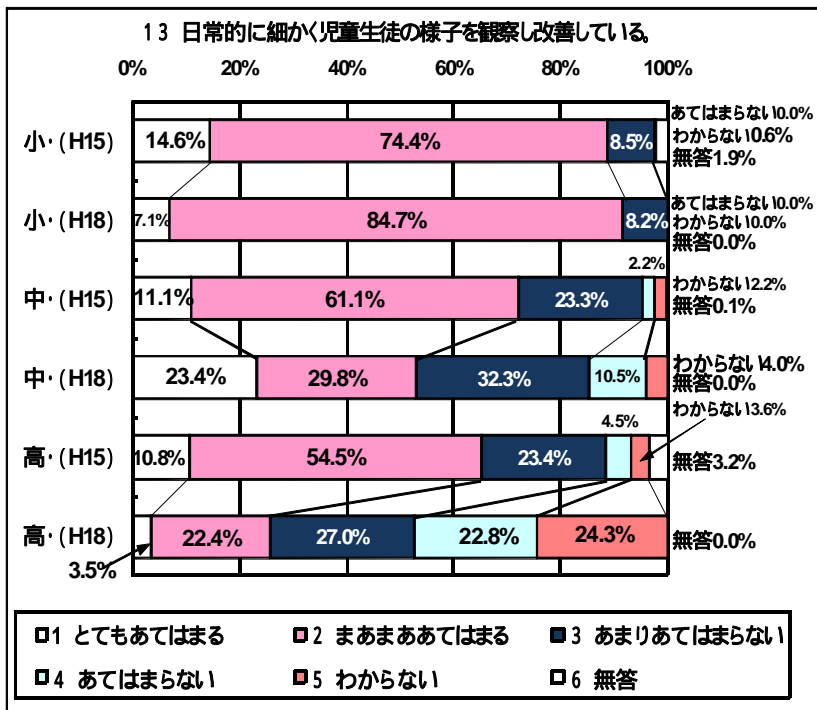


【概要】
 平日の家庭学習として指導している時間は、平成15年度調査に比べ、小学校と高等学校で増加している。また、指導していないと回答した教員はすべての校種で減少した。

教員 13 日常的に細かく児童生徒の様子を観察している。

小・中・高
Q13・Q13・Q13

⇒ 中・高等学校で減少。



【概要】

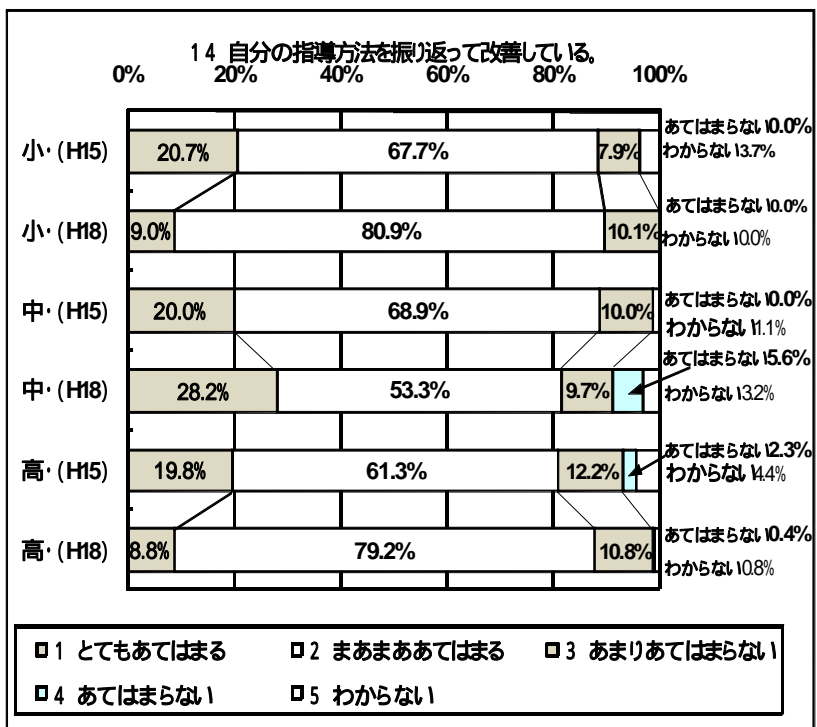
肯定的な回答の割合は、小学校で約92%，中学校で約53%，高等学校で26%である。

教員 14 自分の指導方法を振り返って改善している。

(H15調査は、振り返っている) 小・中・高

⇒ 中学校で減少し，高等学校で増加。

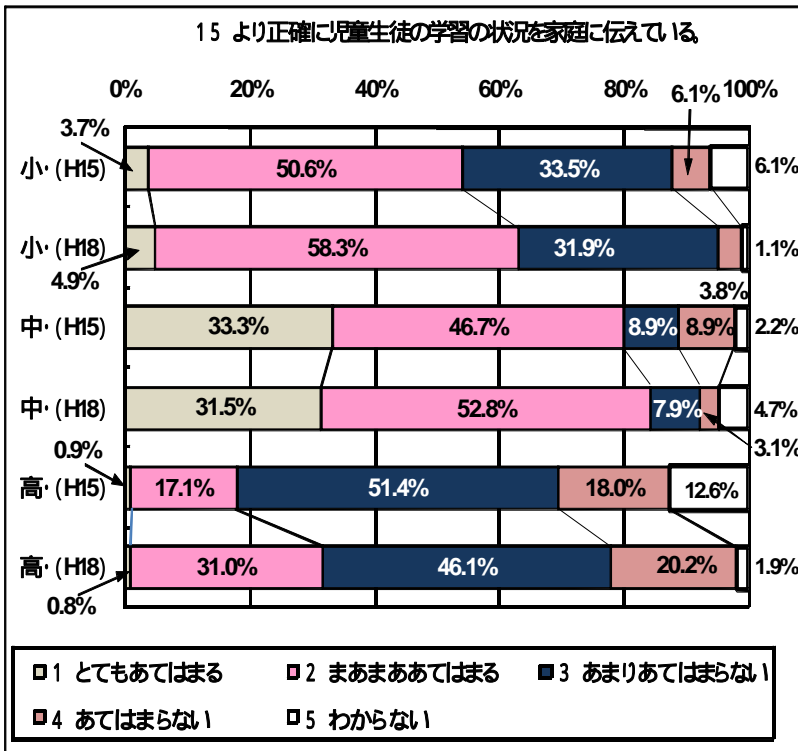
Q14・Q14・Q14



【概要】

肯定的な回答の割合は、小学校で約90%，中学校で約82%，高等学校で90%であり，平成15年度調査に比べ，中学校で減少し，高等学校で増加している。

教員 15 より正確に児童生徒の学習の状況を家庭に伝えている。
 ⇒ すべての校種で、肯定的な割合が増加。
 小・中・高
 Q15・Q15・Q15



【概要】

肯定的な回答の割合は、小学校で約63%、中学校で約84%、高等学校で約32%であり、平成15年度調査に比べ、すべての校種で増加している。